

2017年度 事業計画
ヘルパーステーションそらいろ・相談支援センター空色

1. 理念

障がい者の『当たり前暮らし』を支援する

2. 使命

- ① 利用者に合わせたオーダーメイドの支援を行う
- ② 価値ある時間（思い出）をつくる支援
- ③ ひとりで抱え込まないチーム支援を行う
- ④ 支援者のスキルアップを行う
- ⑤ 地域とのネットワーク作りを大切にする

3. 事業内容

事業内容	概要	対象エリア
居宅介護（身体介護、家事援助等） 重度訪問介護 行動援護	障害者総合支援法に基づく 介護給付費の事業（国）	城陽、宇治、伏見区向島 京田辺田辺・河原
特定相談支援 障害児相談支援	相談支援給付の事業（国）	
移動支援・日中一時支援	地域生活支援事業（市町村）	
外出・見守り・宿泊サービス	私的福祉サービス	

4. 年間テーマ

じっくりと、学び、楽しむ

5. 年間目標

- ① 利用者に合わせた支援力の向上
- ② 個々のスタッフに合わせたスキルアップ
- ③ 城陽地域の福祉に貢献する
- ④ 収益アップ

6. 職員体制

	常勤ヘルパー（正職員・嘱託・契約）	非常勤・登録ヘルパー（パート）
管理者	中野裕介	
サービス提供責任者	中野裕介（兼務）	
専門ヘルパー		
一般ヘルパー	奥、秋篠 黒野（嘱託）	平賀、中野優子、大林、土井 山口啓子、山口知恵 山本（育児休業）
初任ヘルパー		大橋 永岡？、春名

登録ヘルパー募集を行う

7. 具体的計画

① 利用者に合わせた支援力の向上

- * 個別支援計画を中心に支援を行う体制を作り直す
 - ・ ケア会議等で個別支援計画を基にケース検討を行うようにする。
 - ・ 簡潔で読み易い個別支援計画書の様式を考える。
- * 個別のケースについて、話し合う機会をつくる（継続）
 - ・ 各スタッフが支援方法等で工夫している事や、上手くいった事例等を話し合い、共有できる場を定期的に作る。

② 個々のスタッフに合わせたスキルアップ

- * 研修を計画的に行う
 - ・ 年間の研修計画に基づき、計画的に実施する。
- * 個々のスタッフの役割や目標に合わせて研修を実施（一人一人に合わせる）
 - ・ キャリアパス表や目標管理シート、育成計画に基づき、業務や研修を行う。
- * 障害特性（自閉症等）を専門的に学ぶ機会を作る（支援力アップ）
 - ・ 自閉症支援トレーニングセミナーの受講（正職員、希望者）

③ 城陽地域の福祉に貢献する

- * 施設入所者の外出支援を広める
 - ・ 城陽市内の入所施設への宣伝・啓発活動を行う。
 - ・ 京都地域創造基金の寄付金事業への寄付募集活動を行う。
- * 障がい者自立支援協議会の専門部会へ出席する
 - ・ サービス調整検討部会、療育部会へ出席する。
- * 『そらいろ勉強会』を他法人と共同で準備する
 - ・ チャレンジ、支援センターかめさんと一緒に準備を行う。

④ 収益アップ

- * 利用者を増やす
 - ・ 公的福祉サービス（居宅介護、行動援護、移動支援等）は、ヘルパー体制により3～5名の新規計画を目指す。
 - ・ 私的福祉サービスは、2～3人の新規契約を目指す。
- * サービス提供時間を増やす
 - ・ 利用者一人あたりのサービス利用時間の増加を計る。

8. 年間計画（案）

4月	年度初め会議	10月	年度中間会議（未定） 目標管理 中間確認（正職員）
5月	職員・パート健康診断	11月	
6月	実習受け入れ（チャレンジ職員）	12月	インフルエンザ予防接種
7月		1月	
8月	インターンシップ（予定）	2月	ヘルパー面談
9月		3月	バーベキュー（予定） インターンシップ（予定）

※ 研修計画は別紙

エアコン利用料徴収（7～8月、12～2月）

9. 各業務担当（別紙）